QCサークル山形・秋田地区

第３０１回
小集団改善活動研修会
参加募集のご案内

研修テーマ：ヒューマンエラー対策講座〈実践編〉

開催日時	令和 元年 １１月 １５日（金） ９：００～１７：００（受付 ８：４０～）
場　　所	ＴＤＫゲストハウス内多目的ホール（ＴＤＫ歴史みらい館隣接） （にかほ市平沢画面１５　TEL：０１８４-３５-６５８０）
募集人員	５０名（先着順）　※締め切り：１０月３１日（木）
参 加 費	賛助会員，工業会会員：４,０００円/人 一般会社：５,０００円/人（昼食代含む：お弁当を準備致します）

参加のおすすめ

昨今、品質にかかわる重大事故や不祥事が後を絶ちません。重大事故や不祥事の陰にはいろいろな形で、ヒューマンエラーが潜んでいる場合が多くあります。今、品質管理の分野では、ヒューマンエラーに対処することが最大の課題になっています。

ヒューマンエラーの発生した問題については、真の原因をとらえ、対策することが大切であり、真の原因とは何か、各部門の管理・監督者、スタッフが中心となって進めていくことが重要です。本講座では、各階層の方々に、講義や事例の紹介、グループ演習をとおして防止策のノウハウを習得し、実践での成果に結びつけていただきます。

ねらい

「人はエラーをするもの」。これを踏まえた上で、管理・監督者、スタッフは、実務者に対して教育・訓練、指導・支援を行ったり、さらには「ポカよけ」をしたり、エラーが起きたときには真の原因を追究し、対策を講じて再発防止をしていく。これは生産現場に限らず、事務・販売・サービス、あるいは医療・福祉など、あらゆる職種、職場にあてはまることです。本講座は、これまで「アイマイ」にされてきたヒューマンエラー発生要因の洗い出しを行い、実践的な対処方法について学びます。

主催：ＱＣサークル山形・秋田地区　　後援：ＱＣサークル東北支部

研修プログラム

8:40 ～ 9:00　受付
9:00 ～ 9:10　オリエンテーション，開会の挨拶
9:10 ～ 9:15　講師紹介
9:15 ～ 11:15　講義：ヒューマンエラー対策講座〈実践編〉
11:15 ～ 12:00　グループ演習の進め方
12:00 ～ 12:45　昼食・休憩
12:45 ～ 13:20 ＴＤＫ歴史みらい館見学
13:20 ～ 15:30　グループ演習（事例研究）
15:30 ～ 16:30　グループ演習の結果発表とまとめ
16:30 ～ 16:50　質疑応答
16:50 ～ 17:00　アンケート記入，閉会の挨拶

講師紹介

講師　髙橋　芳邦　氏

1963年3月　富山大学経営短期大学部第2部 経営学科卒業
2001年3月　㈱不二越 定年退社
特記事項：　1991年　デミング賞受賞時の部門推進責任者
1999年3月～ 2012年2月　QCサークル本部指導員
2001年4月～ 2016年12月北陸職業能力開発大学校非常勤講師
2003年3月～ 2009年2月　QCサークル北陸支部世話人
2005年4月～ 2012年2月　QCサークル本部認定講師
【現職・資格】
2002年5月～ 日本科学技術連盟認定 QCサークル上級指導士
2009年3月～ QCサークル北陸支部顧問
2001年4月～ 富山県経営者協会講師

会場案内

■仁賀保駅より約1．0km
車で約3分、徒歩で約10分。
駐車場　約50台収容可

申込書①

ＱＣサークル山形・秋田地区事務局
日立オートモティブシステムズ㈱　ＪＰ品質保証部　基準管理課
土場　祐子　行き

＊参加申込みから２日経過しても返信がない場合、お手数ですが
メールかＴＥＬで確認をお願い致します。
E-mail：yuko.doba.gw@hitachi-automotive.co.jp
TEL：携帯　090-1063-9347　FAX：0182-33-2229

＊締め切り：令和　元年 １０月３１日（木）

第３０１回　ＱＣサークル山形・秋田地区
ＱＣサークル研修会　参加申込書

会 社 名				
所 在 地	〒 TEL：　　FAX：			
会社概要	従業員数：約　　人			
	業種：			
	主要製品：			
連絡担当者	所属：　　役職：			
	氏名：			
	E-mail：			
参加者氏名 （フリガナ）	1		4	
	2		5	
	3			
参 加 費 （テキスト代、 昼食代含み）	賛助会員・工業会会員　4,000円×（　　）名＝　　円			
	一般会社　5,000円×（　　）名＝　　円			
	合　　計　　円			

参加費の 振込み先	秋田銀行（金融機関ｺｰﾄﾞ:０１１９）　横手支店（支店ｺｰﾄﾞ:３４１） 普通預金口座　７７７６２０ ＱＣサークル山形・秋田地区事務局　代表　土場　祐子（どば　ゆうこ） 振込み期限　　令和　元年 １１月２９日（金）

別紙、事前調査票（申込書②③）もご提出お願いいたします。

申込書②

ＱＣサークル山形・秋田地区事務局
日立オートモティブシステムズ(株)　ＪＰ品質保証部　　土場　祐子行き

第３０１回　ＱＣサークル研修会　事前調査票

１．連絡担当者の方がご記入ください。　　※該当項目は■にしてください。

会 社 名			
小集団名称	□ＱＣサークル　□小集団改善サークル　□ＺＤ　□ＴＰＭ □その他（　　）		
導入年月	□昭和　□平成　　年　　月	サークル数	

２．派遣責任者の方が研修会へ参加させる目的をご記入ください。

３．以下、参加者の方がご記入ください。（参加者全員）

参加申込№.１　　※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	□男性　□女性	年齢	
役　割	□管理監督者　□推進者　□リーダー　□事務局　□メンバー □その他（　　）				

１．貴社での品質改善への取り組みは、どういう点に重点をおいていますか？
　□技術的または信頼性向上への品質改善に取り組んでいる。
　□ヒューマンエラー不具合の低減活動に取り組んでいる。
　□品質向上に対する社員の動機付けに取り組んでいる。

２．職場にて「ヒューマンエラー防止」の考え方を実践していますか？
　□全社的に実践している。
　□一部の職場で実践している。
　□今後おおいに「ヒューマンエラー防止」策を実践していきたい。

参加申込№.２　　※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	□男性　□女性	年齢	
役　割	□管理監督者　□推進者　□リーダー　□事務局　□メンバー □その他（　　）				

１．貴社での品質改善への取り組みは、どういう点に重点をおいていますか？
　□技術的または信頼性向上への品質改善に取り組んでいる。
　□ヒューマンエラー不具合の低減活動に取り組んでいる。
　□品質向上に対する社員の動機付けに取り組んでいる。

２．職場にて「ヒューマンエラー防止」の考え方を実践していますか？
　□全社的に実践している。
　□一部の職場で実践している。
　□今後おおいに「ヒューマンエラー防止」策を実践していきたい。

参加申込№.３　　※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	□男性　□女性	年齢	
役　割	□管理監督者　□推進者　□リーダー　□事務局　□メンバー □その他（　　）				

１．貴社での品質改善への取り組みは、どういう点に重点をおいていますか？
　□技術的または信頼性向上への品質改善に取り組んでいる。
　□ヒューマンエラー不具合の低減活動に取り組んでいる。
　□品質向上に対する社員の動機付けに取り組んでいる。

２．職場にて「ヒューマンエラー防止」の考え方を実践していますか？
　□全社的に実践している。
　□一部の職場で実践している。
　□今後おおいに「ヒューマンエラー防止」策を実践していきたい。

参加申込№.４　　※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	□男性　□女性	年齢	
役　割	□管理監督者　□推進者　□リーダー　□事務局　□メンバー □その他（　　）				

１．貴社での品質改善への取り組みは、どういう点に重点をおいていますか？
　□技術的または信頼性向上への品質改善に取り組んでいる。
　□ヒューマンエラー不具合の低減活動に取り組んでいる。
　□品質向上に対する社員の動機付けに取り組んでいる。

２．職場にて「ヒューマンエラー防止」の考え方を実践していますか？
　□全社的に実践している。
　□一部の職場で実践している。
　□今後おおいに「ヒューマンエラー防止」策を実践していきたい。

参加申込№.５　　※該当項目は■にしてください。

参加者氏名		性別	□男性　□女性	年齢	
役　割	□管理監督者　□推進者　□リーダー　□事務局　□メンバー □その他（　　）				

１．貴社での品質改善への取り組みは、どういう点に重点をおいていますか？
　□技術的または信頼性向上への品質改善に取り組んでいる。
　□ヒューマンエラー不具合の低減活動に取り組んでいる。
　□品質向上に対する社員の動機付けに取り組んでいる。

２．職場にて「ヒューマンエラー防止」の考え方を実践していますか？
　□全社的に実践している。
　□一部の職場で実践している。
　□今後おおいに「ヒューマンエラー防止」策を実践していきたい。